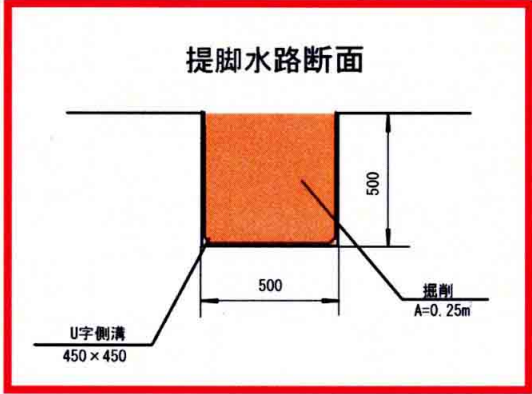
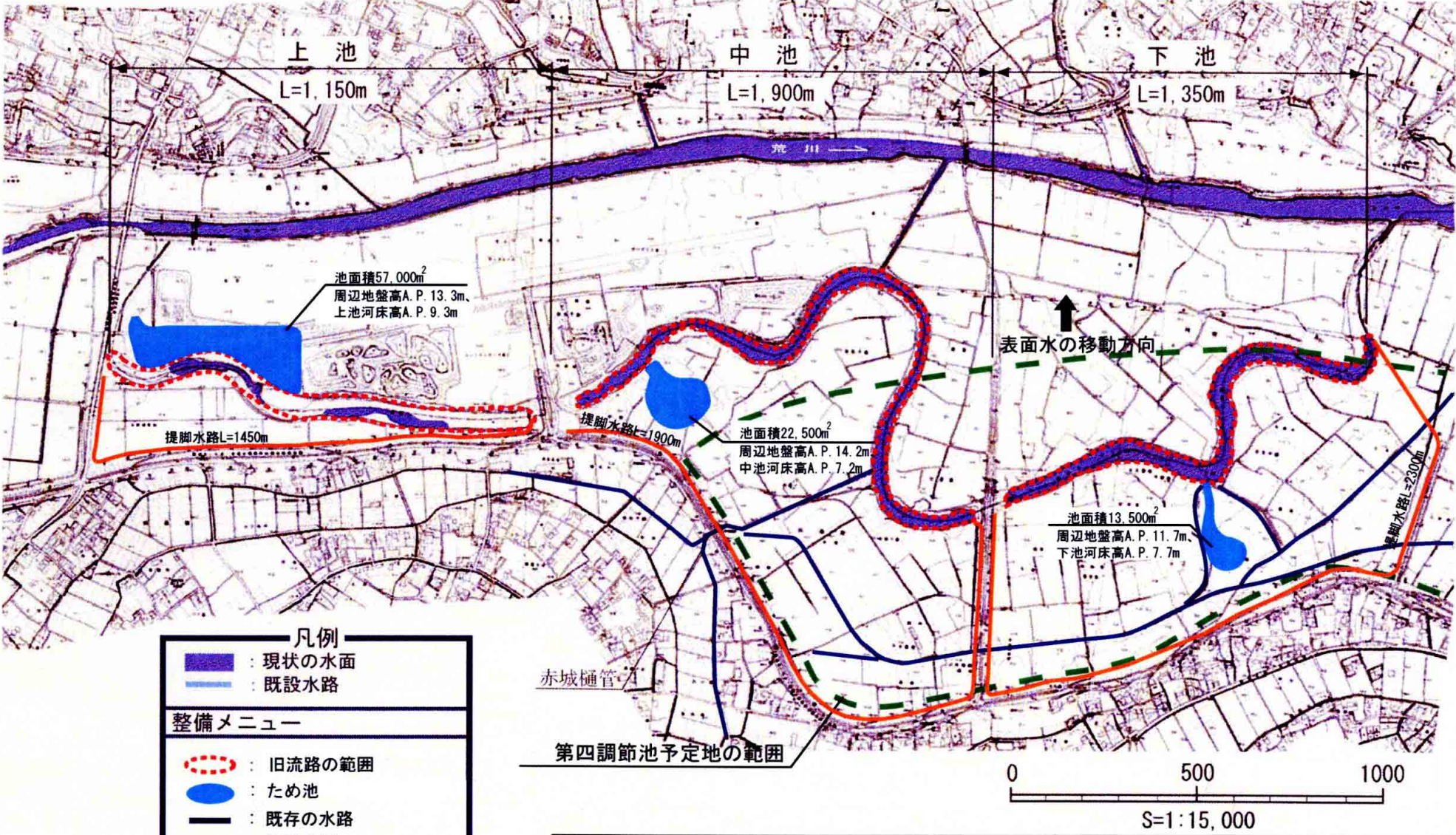


No. 7案 雨水の利用（池への集水方法）

平面図



目的	現況水路を極力活用して、雨水を旧流路へ効率的に集水する。						
条件	・現状の集水域を整備する。 ・集水の土地買収等は行わない。 ・ため池の深さは、隣接する各池の河床高に合わせる。						
工事概要	雨水をためる池を作り、提脚に水路を設ける						
維持管理	特になし						
工事費	導水路掘削工事	細別	単位	数量	単価(円)	金額(千円)	備考
		提脚水路掘削工事 (L=5650m)	m ³	1,413	600	848	単価には、機械掘削積み込み、1km以内ダンプ運搬、仮置き場数均し含む。
		提脚水路U字形側溝布設 (L=5650m)	10m	565	91,400	51,641	単価には、U形側溝、U形側溝布設、基礎碎石を含む。
		ため池掘削	10m	439,500	600	263,700	単価には、U形側溝、U形側溝布設、基礎碎石を含む。
		諸経費				158,011	直接工事費の50%と仮定し、端数を調整。
		工事費合計				474,200	費用には、土地取得費用は含まない。基面整正が必要な場合は別途計上。
長所	・治水上は問題ない。 ・動力を用いない水供給となる。 ・比較的簡易な工事で済む。 ・施工により本川生態系に与える影響は少ない。						
短所	・上池の集水面積が小さい。 ・水の供給は不安定である。 ・土砂の流入及び田畑からの栄養塩類の流入の助長により、堆積や富栄養化が懸念される。						
備考	・各池に均等な水供給をするためには、横堤の接続が必要。						